

2020年度 社会福祉法人青谷学園事業報告書

1 総 括

2020年をCSR元年と位置付け、地域貢献活動やワークライフバランス、子育て支援への取り組みを一層進めました。法人ホームページも刷新し、それらの情報を発信しました。

中長期計画は3年が経過したことから具体策の見直しを行いました。SDGsへの取り組みなど次のステージに飛躍させました。

フードバンク事業では、コロナ禍でも食品を確保することができ、こども食堂に分配することができました。さらにフードバンク事業の実績から城陽市と連携しフードロス削減の一端を担うことができました。

参画している「きょうと健康づくり実践企業」では、2020年度最優秀賞を受賞することができました。また、健康経営優良法人2021(大規模法人部門)の認定も受け、法人のブランド力を向上させることができました。

2 働き方改革

(1) パートタイム職員の均等均衡処遇

パートタイム職員への不合理な待遇をなくすべく、給与の手当、賞与、特別休暇、慶弔見舞、福利厚生全般にわたって、均等・均衡処遇としました。

(2) 時間単位年休の導入

より多様な働き方ができるように、時間単位年休を導入しました。年次有給休暇のうち5日を時間単位年休に充てられます。

(3) 残業の削減

すべての職員が「残業をしない」という意識を持って削減に取り組みました。月平均法定外残業時間は15分でした。

(4) 年次有給休暇の取得率

2019年度に新たに付与した日数に対して全員が7割取得を目標としましたが、1人が7割取得しませんでした。平均取得率は86.9%でした。

3 健康経営の取り組み

(1) 健康保持・増進の取り組み

全職員が「いきいき宣言」をして、一人一人が健康で長く働くことを意識するように働きかけました。

法人本部内に健康経営推進部を設置し、職員健康診断やメンタルヘルスチェックの実施、メンタルヘルス研修会や睡眠講座を開催しました。

(2) 健康診断

健康保険に加入している35歳未満の職員には、集団検診による定期健康診断を35歳以上の職員には生活習慣病予防健診を行いました。検診項目に、男性には前立腺がん検診、女性には乳がん・子宮がん検診を追加し、がん検診の充実を図りました。

このほかにストレスチェック、問診形式の腰痛健康診断を実施し、夜勤をする生活支援員には特別健康診断をしています。

(3) 健康アプリの導入

毎日の食事写真から栄養量が表示され、運動量などを入力すると健康アドバイスが届きます。健康診断結果も入力でき自身で健康管理ができるアプリを導入しました。アプリの利用促進キャンペーンを打ち、利用拡大を図りました。

(4) 体成分分析装置の整備

職員やご利用者様の健康増進のため、体内の水分や筋肉、脂肪などの体成分量を分析できる体成分分析装置を整備しました。コロナの影響で催事ができなかったことから、近隣の方に使ってもらえる機会がなく、地域の健康意識の向上に資することはできませんでした。

(5) 腰痛予防

腰痛発生日スクの高い職員には、腰痛ベルトを配布し業務中は常時着用としました。始業時には腰痛予防体操を実施し腰痛予防に努めました。

(6) 感染症予防

感染症対策として全職員にインフルエンザ予防接種を行いました。3月には全職員が京都府の費用負担によりPCR検査をしました。また、消毒剤やマスク、防護服を相当量ストックしました。

5 人材育成と人材確保

(1) 処遇改善加算報酬による賃金改善

処遇改善加算及び特定処遇改善加算の適用を受けて賃金改善を行いました。

(2) 人事考課表と人材育成計画の見直し

人材育成のため、人事考課表と人材育成計画を全面的に見直しました。人材育成計画には職種や職位ごとに受講しなければならない研修を細かく掲げました。

(3) 福利厚生

パートタイム職員にも株式会社リクラブの福利厚生倶楽部の加入対象者を4月から週20時間以上のパートタイム職員に拡大しました。

(4) 賞 与

正規職員には、年4.1か月を支給しました。パートタイム職員にも所定労働時間に応じた賞与を支給しました。

(5) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画並びに次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の推進

女性管理職の比率を向上させるという目標に向けて管理職を育成し1名増やすことができました。また、「イクメンのすすめ」を推進したことで、男性から育児休業1か月取得がありました。

6 危機管理対策の強化

(1) 事業継続計画の見直し

新型コロナウイルスの蔓延を想定し、少人数の職員でも事業が継続できるようにBCP(事業継続計画)の見直しを行いました。備蓄食料と消耗品のストックを増やし職員分を含め

て7日分としました。

(2) 福祉避難所

青谷学園は福祉避難所の指定を受けています。避難所内での感染症対策としてマスクと消毒液の備蓄量を万全にしました。

(3) 地域の一時避難所の感染対策

災害時に地域の方の一時避難所とするD Oの作業室に、避難者の感染症対策として簡易パーテーションとカーテンを設置しました。京都府と城陽市の補助事業として行いました。

7 情報セキュリティ管理の徹底

情報セキュリティ担当者には、LINEWORKSのグループ機能を活用し、危険情報を流したりしたり、注意喚起を促したりするなどして、セキュリティ管理を高めました。

I T資産管理ソフトの導入により、増え続けるI T資産の適切な管理とセキュリティ対策、そして業務効率化を図ることができました。

8 地域社会への貢献

(1) フードバンクの取り組み

京都府社会福祉協議会が取り組む京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」に参画して「京都市フードバンク事業」に取り組みました。企業や個人などから集められた食品を子ども食堂に分配するための一時保管場所としてその役割を果たしました。

(2) 食品ロス削減に向けて城陽市に協力

城陽市が取り組みを開始された食品ロス削減対策に当法人のフードバンクがその一翼を担いました。市民から集められたロスとなる食品を一時保管し、近隣の子どもの食堂に分配しました。

(3) インターンシップの実施

感染症対策からWEBによるインターンシップを行いました。ZOOMにより対象者の様子を映し、支援方法について学生さん同士で話し合い課題を見つけ、その解決方法を考えてもらう「課題解決型」としました。

(4) 出張講座

池坊短期大学において、学生と教員約60名に「障がいのある人とのかかわり～生きる力の支援からみえてくるもの～」と題して、出張講座を行いました。

法人本部

1 理事会の開催状況

次のとおり理事会を開催しました。

開催月日 場 所	出席者数 /定数	議 題 等	出席監事 /定数
5月29日 青谷学園 ホール	6/6	【報告事項】 第1号報告 正規職員就業規則一部変更の報告 第2号報告 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第3号報告 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第4号報告 社会福祉充実計画の作成が不要であったことの報告 第5号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第6号報告 理事長の専決事項の報告 第7号報告 地域貢献事業の取り組み状況の報告 第8号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告 【決議事項】 第1号議案 2019年度事業報告と決算の件 第2号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第3号議案 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第4号議案 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第5号議案 育児・介護休業等に関する規則一部変更の件 第6号議案 無期雇用パートタイム職員転換制度規程一部変更の件 第7号議案 経理規程細則一部変更の件 第8号議案 6月賞与の支給率の件 第9号議案 2020年度第1次補正予算の件 第10号議案 理事辞任に伴う後任候補者の原案作成の件 第11号議案 評議員会開催要項の件	2/2
11月5日 青谷学園 ホール	5/6	【報告事項】 第1号報告 正規職員就業規則一部変更の報告 第2号報告 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第3号報告 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第4号報告 無期雇用パートタイム職員転換制度規程一部変更の報告 第5号報告 育児・介護休業等に関する規則一部変更の報告 第6号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第7号報告 理事長の専決事項の報告 第8号報告 地域貢献事業に関する取り組み状況の報告 第9号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告 【決議事項】 第1号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第2号議案 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第3号議案 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第4号議案 育児・介護休業等に関する規則一部変更の件 第5号議案 短時間勤務正規職員就業規則制定の件 第6号議案 役割等級規程一部変更の件 第7号議案 経理規程一部変更の件 第8号議案 12月賞与の支給率の件 第9号議案 2020年度第2次補正予算の件	2/2
1月8日 理事会の決 議の省略	6/6	【決議事項】 第1号議案 2020年度第3次補正予算の件	—

3月19日 青谷学園 ホール	5/6	<p>【報告事項】 第1号報告 正規職員就業規則一部変更の報告 第2号報告 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第3号報告 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の報告 第4号報告 虐待防止・身体拘束適正化対策指針策定の報告 第5号報告 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針策定の報告 第6号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第7号報告 理事長の専決事項の報告 第8号報告 地域貢献事業に関する取り組み状況の報告 第9号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告</p> <p>【決議事項】 第1号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第2号議案 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第3号議案 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第4号議案 役割等級規程一部変更の件 第5号議案 青谷学園運営規程一部変更の件 第6号議案 D O 運営規程一部変更の件 第7号議案 青谷学園相談支援事業所運営規程一部変更の件 第8号議案 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画並びに女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定の件 第9号議案 中長期計画具体策一部変更の件 第10号議案 役員賠償責任保険加入の件 第11号議案 2020年度第4次補正予算の件 第12号議案 2021年度事業計画と予算の件 第13号議案 次期役員就任候補者原案作成の件</p>	2/2
----------------------	-----	---	-----

2 評議員会の開催状況

次のとおり評議員会を開催しました。

開催月日 場 所	出席者数 /定数	議 題 等	出席役員
6月18日 青谷学園 ホール	8/8	<p>【報告事項】 第1号報告 2019年度事業報告 第2号報告 社会福祉充実計画の作成が不要であったことの報告</p> <p>【決議事項】 第1号議案 2019年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の件 第2号議案 役員・評議員・委員報酬規程一部変更の件 第3号議案 小林靖尚氏を理事に選任する件</p>	理事長 理事2名

3 監事監査の実施状況

2020年5月15日、青谷学園会議室において監事監査を行いました。

4 情報公開

ホームページにより、決算状況、事業報告、役員名簿、定款、役員評議員委員規程、特定処遇改善加算の見える化要件や健康経営等について情報公開しました。

5 役 職 員

(1) 残業の削減

職員の法定外残業はありませんでした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇の取得率

2019年度に新たに付与した日数に対して全員が7割取得を目標としました。本部職員全員が達成できました。平均取得率は90.3%でした。

イ 職員の家族の職場訪問

青谷学園と合同で12月20日にオンラインにより開催しました。1家族3人の参加がありました。

(3) 健康増進

ア ラジオ体操

午前と午後の1日2回、全職員一斉にしました。

イ 健康アプリの活用

食事・運動・睡眠のアドバイスが毎日届く健康アドバイスアプリが導入されたので、健康情報の入力に応じたポイントを付与しその普及に努めました。

ウ 体成分分析装置による健康管理

筋肉量や水分量が測定できる体成分分析装置を使った健康管理を行いました。測定結果の推移から自身の体の状態を確認することができます。来訪者や職員のご家族へも健康増進を勧め測定をしました。

(4) 法人本部主催研修会の開催状況

実施月日	内 容	講 師	場 所	参加者内訳
11月26日	メンタルヘルスセミナー 「働きやすい働きがいのある職場をつくるコミュニケーション！」	(株)システムサポート研究所 谷口公一	青谷学園 ホール On-line	法人本部 3名 青谷学園 38名 D O 6名
1月14日	特定個人情報の取り扱いについての勉強会	特定個人情報取扱担当者 畔岡友香里(副主任)	青谷学園 職員室	青谷学園 1名
1月28日	職場における健康講座 睡眠と健康でやる気 up! 良眠のススメ	洛和会京都健診センター 野池千佐都	On-line	法人本部 3名 青谷学園 38名 D O 10名

(5) 外部団体主催研修会への参加状況

開催日	研 修 会 名	主 催 者	開催地	参加者内訳
6月26日	今こそ管理部門のテレワークを進めましょう 年末調整編	ピー・シー・エー(株)	On-line	本部職員 1名
7月30日	セミナー「産業保健活動における産業医・看護師・衛生管理者等の役割分担について」	京都産業保健総合支援センター	京都市	本部職員 1名
8月28日	健康経営の事例と施策セミナー	(株)ベネフィットワン (株)パソナ	On-line	本部職員 1名
9月30日 10月21日 11月18日 12月10日	男性の育児休業取得推進のためのセミナー	京都府	On-line	本部職員 1名
12月10日	人事労務関係主要改正総整理	ピー・シー・エー(株)	On-line	本部職員 1名
1月13日	京都府社会福祉法人経営者セミナー	京都府社会福祉法人経営者協議会	On-line	理事長 本部職員 1名
1月20日 21日	監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	理事 1名 本部職員 1名
2月8日	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	本部職員 1名

2月17日	がん対策推進企業アクションセミナー	がん対策推進企業アクション事務局	On-line	本部職員	1名
2月17日	近畿ブロックオンラインセミナー	近畿社会福祉法人経営者協議会	On-line	理事	1名
2月25日	働く人の健康づくりオンラインセミナー	中央労働災害防止協会	On-line	本部職員	1名
3月3日	質の高いサービスはよいチームから 活気ある職場づくり×メンタルヘルス	全国社会福祉法人経営青年会	On-line	理事	1名

(6) 職員による会議の開催状況

会 議 名	開 催 数
衛生委員会・健康会議	10回

6 設備整備

時 期	内 容	取得金額
3月31日	NEC一体型パソコン1台	260,480円

7 補助金等の受け入れ状況

対 象 事 業	交 付 団 体	補 助 金 等 の 種 類	補 助 額
新型コロナウイルス小学校休業対応	京都労働局	両立支援助成金	45,684円
地域貢献事業	京都府社会福祉協議会	地域福祉創生事業助成金	230,448円
合		計	276,132円

障害者支援施設 青谷学園

1 総 括

新型コロナウイルス感染症予防対策に重点をおいて取り組みました。外出行事や外部講師によるものは、内容を変更して実施したり取り止めたりするものがありました。また、施設公開や実習学生の受け入れも取り止めとしました。施設内で感染症が発生した場合でも事業を継続できるよう事業継続計画に沿った訓練を行いました。

2 利用者支援

ご利用者様の高齢化により、時間的に余裕のあるプログラムを提供しました。理学療法士よりリハビリを実施したり、リラクゼーションセラピーを行ったりして身体機能維持に努めました。運動不足解消のため軽運動の時間を取り入れ、ラジオ体操は毎日午前と午後の2回実施しました。

骨折予防のため、カルシウム豊富な食事提供と日光浴に取り組みました。

(1) 利用人数

サービス種別	延べ利用人数	1日平均利用人数	利用率
施設入所支援	25,186人	69.00人	98.58%
生活介護	25,175人	68.97人	114.95%
短期入所	0人		

短期入所は、新型コロナウイルス感染症予防によりご利用者様の帰宅による空床が発生せず受け入れできませんでした。

(2) 作 業

自主製品の「ヒノッキオ」「ハートバスボム」「くるみちゃん」「彩ブレスレット」を制作し販売しました。施設外での販売ができず売り上げは当初予算の2割になってしまいました。収益は全額現金でご利用者様に分配しました。

売 上 金	10,100円
材 料 費	5,933円
収 益	4,167円

(3) 創作活動

ものづくりを楽しむ時間として月に2日創作活動をしました。

(4) 食 事

塩分量は1日7.0グラムとしました。さまざまな治療食に対応するとともに、ソフト食も導入しました。健康診断の結果を基にした個別の栄養ケアを行いました。

嗜好調査は7月に実施し、ご利用者様の希望に沿った献立や調理としました。

(5) 健康管理

嘱託医師による定期診察を月に2回行いました。健康診断は9月と3月の2回実施しました。また、歯科医師の往診を週に1回設けました。

筋肉量や水分量が測定できる体成分分析装置を使った身体測定を定期的に行いました。サルコペニアの予防につなげました。

(6) リハビリ

嘱託医師、理学療法士、看護師とリハビリ担当生活支援員が連携し、機能維持訓練を週1回行いました。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため4月と8月は中止しました。

(7) リラクゼーションセラピー

セラピストの資格を持つ職員がリラクゼーションセラピーを週2回行いました。

(8) 音楽セラピー

外部講師による音楽セラピーを月2回実施しました。4月から6月まで中止としました。

(9) 特別整容

車いすの方を対象に浮腫み改善のため、月に2回足浴やマッサージを行いました。

(10) レクリエーション等

次のとおり実施しました。このほか週2回のコンビニに出かける機会を設けました。

実施日	内 容	場 所
4月23日	バーベキュー	施設内
7月9日	夏祭り	施設内
10月14日	木津川運動公園散策	城陽市 木津川運動公園
10月28日	木津川運動公園散策	城陽市 木津川運動公園
10月31日	ハロウィンパーティー	施設内
11月10日	木津川運動公園散策	城陽市 木津川運動公園
12月25日	クリスマスパーティー	施設内
1月3日	初詣	京田辺市 咋岡神社
1月7日	新年パーティー	施設内

(11) 事故の発生状況

行政に報告書を提出したご利用者様の事故は次のとおりです。利用者安全対策委員会では、ヒヤリ・ハット報告書を検証し事故の再発に努めました。

発生日	内 容
4月9日	転倒し左足の左内側楔状骨を骨折
6月25日	窓や扉を叩き、左手舟状骨を骨折
7月12日	転倒し右足の中足骨を骨折
8月29日	ストレッチャーから転落し左上腕骨と左大腿骨頸部を骨折
10月5日	転倒し恥骨を骨折
10月26日	転倒し第1腰椎棘突起骨を骨折
12月30日	転倒し左上腕骨近位端骨を骨折

(12) 苦情受付状況

苦情はありませんでした。

3 安全対策

(1) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症予防対策として、非接触型体温測定器サーマルカメラ4台、

防護服、フェイスシールド、N95マスクを整備しました。

(2) 食中毒対策

調理室内と給食従事者に対して、専門業者による衛生検査を2か月に1回専行しました。給食従事者に行う検便では通常の検査に加えてノロウイルス検査を行いました。

(3) 災害時備蓄食料

備蓄量をご利用者様分と職員分合わせて100名の食料を7日分まで引き上げました。また、職員が帰宅できない場合を想定して必要な日用品を配備しました。

(3) 消防署所管の訓練の実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	消防署届出	消防署立合
9月17日	部分訓練	夜間想定避難・通報・消火訓練	無	無
10月22日	総合訓練	消火・通報・避難誘導・救護を連携して行う訓練	有	有
2月25日	基礎訓練	屋内消火栓訓練等	無	無
2月25日	机上訓練	機器の操作訓練等	無	無

(4) その他の訓練の実施状況

実施日	訓練内容	参加者
5月22日	誤嚥・誤飲	生活支援員6名 看護師1名
5月28日	誤嚥・誤飲	生活支援員7名 看護師2名
6月25日	非常災害時訓練(震災想定)	利用者70名 施設長 生活支援員23名 看護師4名 調理員2名 管理栄養士2名 栄養士1名 事務員1名
9月14日	誤嚥・誤飲	生活支援員5名 看護師1名
11月27日	不審者対応訓練	生活支援員11名 看護師1名 事務員1名
12月17日	災害時訓練(洪水想定)	利用者69名 生活支援員11名 看護師2名
1月28日	感染症発生時訓練(新型コロナウイルス想定)	施設長 生活支援員23名 看護師5名 調理員5名 管理栄養士1名 栄養士3名 事務員2名
2月25日	誤嚥・誤飲	生活支援員19名 看護師5名
3月17日	福祉避難所対応訓練	生活支援員9名 看護師2名

4 職 員

(1) 残業の削減

すべての職員が「残業をしない」という意識を持って削減に取り組みました。月平均法定外残業時間は17分でした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇の取得率

当該年度に新たに付与した日数に対して7割取得を目標とし、全員が達成できました。平均取得率は85.4%でした。

イ 職員の家族の職場訪問

12月20日にオンラインで開催しました。20家族65名の参加がありました。

(3) 健康増進

ア ラジオ体操

午前と午後の1日2回、全職員一斉にしました。

イ 腰痛予防対策

介護職員にはノーリフティングケアを徹底するとともに、始業時に各自で腰痛予防体操を行いました。

ウ 健康アプリの活用

食事・運動・睡眠のアドバイスが毎日届く健康アドバイスアプリが導入されたので、健康情報の入力に応じたポイントを付与しその普及に努めました。

エ 体成分分析装置による健康管理

筋肉量や水分量が測定できる体成分分析装置を使った健康管理を行いました。測定結果の推移から自身の体の状態を確認することができます。来訪者や職員のご家族へも健康増進を勧め測定をしました。

オ がんの啓蒙と検診

がん検診を推奨する研修を全職員に実施しました。がん教育として「がん対策推進企業アクション」が作成した YouTube「がん教育講座」を館内放送で流しました。

(4) オンライン面接の導入

2020年4月から採用試験にオンラインを導入しました。適正テストや面接試験をWEBで行います。施設の様子や仕事内容は、WEBにアップした動画から確認できるようにしました。これにより求職者を大幅に増やすことができ、常に必要な員数を確保することができました。

(5) 各種会議の開催状況

会議名	開催数
職員会議	12回
管理職会議	12回
個別支援会議	25回
個別支援計画作成会議	4回
支援計画作成委員会	6回
利用者安全対策委員会	6回
感染症対策委員会	3回
利用者食事形態検討会議	19回
サービス向上委員会	12回
地域貢献・交流促進委員会	2回
サービス評価委員会	2回
衛生委員会・健康会議	10回

(6) 研修の状況

新型コロナウイルス感染拡大により、外部団体主催の研修会は減りましたが、施設内研修を積極的に行うことで知識や技術を取得し、質の高いサービス提供につなげました。特に新たに導入されたeラーニングを有効に活用しました。

ア 施設主催研修会の開催状況

開催日	内容	講師	参加者内訳
4月1日 ～3日 6日	新入職員研修 新入職員の心得 概要説明 規程 関係 労働安全衛生教育 BCP 消防計画 人事考課	次長補佐(生活支援員)	生活支援員 3名 生活支援員 (非正規) 2名

	新入職員研修 肝炎 発作 薬 服薬の仕方 摂食 嚥下	次長補佐(看護師)	生活支援員 3名
	新入職員研修 栄養ケア	リーダー(管理栄養士)	生活支援員 3名
	新入職員研修 フットケア 爪切りの仕方	一般職員(生活支援員)	
	新入職員研修 口腔ケア	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 苦情解決システム	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 ベッドメイキング	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 対人援助の基本姿勢	一般職員(生活支援員)	生活支援員 4名
	新入職員研修 ケース記録の書き方	リーダー(生活支援員)	
	新入職員研修 理学療法 作業療法	次長補佐(生活支援員)	
	新入職員研修 リフト機 スライディングシート 車椅子への移乗方法 介護技術のDVD鑑賞と実技 移乗技術 福祉用具のDVD鑑賞と実技	副主任(生活支援員)	
	新入職員研修 各種マニュアル	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 障害者虐待防止 権利擁護 パソコン 福祉見聞録	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 オムツ	一般職員(生活支援員)	
	新入職員研修 傾聴力トレーニング	リーダー(生活支援員)	
	新入職員研修 救命処置	一般職員(看護師)	
	新入職員研修 消防机上訓練 消防機器説明 洪水時避難確保計画	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 利用者預り金サービス	主任(生活支援員)	
	新入職員研修 リスクマネジメント アンダー マネジメント強度行動障害の記録の付け方	次長補佐(生活支援員)	
4月1日	雇い入れ時研修	次長補佐(生活支援員)	
4月2日	雇い入れ時研修	次長補佐(生活支援員)	生活支援員(非正規) 3名
4月23日	救命救急講習会(AED)	一般職員(看護師)	生活支援員 21名 看護師 3名
5月28日	新型コロナウイルス感染症の対応について	次長補佐(生活支援員)	生活支援員 20名 看護師 4名 調理員 3名 管理栄養士 2名 事務員 1名
6月1日	雇い入れ時研修	主任(生活支援員)	生活支援員(非正規) 1名
6月25日	新入職員(生活支援員)援助技術研修	次長補佐(看護師) 主任(看護師) 副主任(生活支援員)	生活支援員 3名
6月25日	転倒災害防止研修会	次長補佐(生活支援員)	施設長 生活支援員 19名 看護師 4名 調理員 3名 管理栄養士 2名 栄養士 1名
6月25日	新入職員研修(危険予測研修)	主任(生活支援員)	生活支援員 3名
6月25日	OJTプリセプター研修	主任(生活支援員)	生活支援員 1名
7月1日	中途採用職員(生活支援員)研修会	主任(生活支援員)	生活支援員 3名
7月2日	中途採用職員(生活支援員)研修会	リーダー(管理栄養士) 副主任(生活支援員) 一般職員(看護師) 主任(生活支援員)	生活支援員 3名
7月3日	中途採用職員(生活支援員)研修会	次長補佐(看護師) 主任(生活支援員) 次長補佐(生活支援員)	生活支援員 3名

7月9日	新入職員研修(危険予測研修)	主任(生活支援員)	生活支援員 2名
8月27日	ノーリフティング・腰痛予防対策研修	次長補佐(生活支援員)	施設長 生活支援員 21名 看護師 4名 調理員 3名 管理栄養士 2名 栄養士 1名 事務員 1名
8月27日	安全な個人防護服の着脱方法について	一般職員(看護師)	生活支援員 19名 看護師 4名
10月22日	障害児者福祉施設等職員への新型コロナウイルス感染症対策研修	WAMNET研修動画	生活支援員 19名 看護師 4名
11月26日	メンタルヘルスセミナー (本部主催)	(株)システムサポート 研究所	施設長 生活支援員 27名 看護師 4名 調理員 4名 管理栄養士 2名 事務員 1名
12月1日	雇い入れ時研修	主任(生活支援員)	生活支援員 1名 管理栄養士 1名
1月4日 1月9日 1月12日	雇い入れ時研修	主任(生活支援員) 次長補佐(看護師)	調理員 2名 看護師 1名 生活支援員 (非正規) 1名
1月28日	職場における健康講座 睡眠と健康でやる気 up! 良眠のススメ (本部主催)	洛和会京都健診センタ ー On-line	施設長 生活支援員 22名 看護師 5名 調理員 5名 管理栄養士 2名 栄養士 2名 事務員 1名
2月25日	爪切り事故防止研修	一般職員(看護師)	生活支援員 21名
2月25日	個人情報管理研修	次長補佐(生活支援員)	施設長 生活支援員 20名 看護師 5名 調理員 4名 管理栄養士 2名 栄養士 2名 事務員 1名
3月4日	雇い入れ時研修	主任(生活支援員)	生活支援員 (非正規) 1名
3月25日	口腔ケアの基本について	歯科衛生士	生活支援員 21名 看護師 4名

イ eラーニングの実施状況

実施日	内 容	参加者内訳
7月30日	社会人の常識・非常識【新入職員編】	生活支援員 3名
7月30日	新入社員の育て方・伸ばし方	生活支援員 7名 看護師 1名 調理員 2名 管理栄養士 1名 事務員 1名
7月30日	社会人の常識・非常識【上司編】	生活支援員 4名 調理員 1名 管理栄養士 2名
7月30日	コーチングに学ぶ 人を育てる「ほめ方・叱り方」	生活支援員 6名 看護師 1名
7月30日	こんな管理者が問題を起こす ①管理者の問題発言・行動	生活支援員 2名 看護師 1名
8月27日	私たちのコンプライアンス	施設長 生活支援員 22名 看護師 4名 調理員 2名 管理栄養士 2名 栄養士 1名 事務員 1名
9月16日	モチベーションマネジメント	生活支援員 14名 看護師 1名

9月30日	介護場面のリスクマネジメント チームワーク	生活支援員 14名 看護師 2名
10月22日	医療に関する教育・研修(バイタルサイン・高齢者に多い疾患)	生活支援員 22名 看護師 4名
12月3日	介助技術の基礎知識	生活支援員 1名
12月24日	虐待・身体拘束について	生活支援員 21名 看護師 4名
1月4日	メンタルヘルス	管理栄養士 1名
1月4日 1月9日 1月12日	私たちのコンプライアンス メンタルヘルス	看護師 1名 調理員 2名 管理栄養士 1名 生活支援員(非正規) 1名
1月13日	虐待の基礎知識 チームワークの基礎知識	看護師 1名
1月16日	虐待の基礎知識 チームワークの基礎知識 食事介助	生活支援員(非正規) 1名
2月24日 2月25日	指導者の基礎知識 OJTの流れと注意点	生活支援員 5名

ウ 外部団体主催研修会への参加状況

開催日	研修会名	主催者	開催地	参加者内訳
4月1日 2日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	有限会社ホットラインワールド	大津市	生活支援員 1名
6月10日	採用力向上研修	京都府・京都市	京都市	生活支援員 1名
6月11日 ～12日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	(有)ホットラインワールド	大津市	生活支援員 1名
6月13日 6月28日 7月4日 7月25日 8月1日 8月23日 9月6日 9月12日	福祉用具専門相談員養成講習	医療法人啓信会ケアスクールリエゾン	宇治市	生活支援員 1名
8月22日	食欲不振患者の評価と対策	(株)フードケア	On-line	管理栄養士 1名
9月10日 10月21日 11月18日 12月10日	官民協働プラットフォーム事業 男性の育児休業取得推進キックオフシンポジウム	一般社団法人京都経営者協会	On-line	施設長
9月30日	官民協働プラットフォーム事業 男性の育児休業取得推進キックオフシンポジウム	一般社団法人京都経営者協会	On-line	生活支援員 1名
10月1日 12月1日	相談支援従事者初任者研修	京都府福祉人材・研修センター	On-line	生活支援員 1名
11月13日	採用力向上研修	京都府・京都市	京都市	生活支援員 1名
11月21日 22日	社会福祉士実習指導者講習会	(有)ホットラインワールド	大阪市	生活支援員 2名
12月23日	サービス管理責任者等更新研修	京都府福祉人材・研修センター	京都市	生活支援員 1名
1月14日	短期専門講習	介護労働安定センター	京都市	生活支援員 1名
1月20日 21日	監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	生活支援員 1名
2月8日	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	生活支援員 1名 事務員 1名
2月16日 3月8日 3月29日	介護福祉士実習指導者講習会	(有)ホットラインワールド	京都市	生活支援員 1名
2月17日	社会福祉法人経営者協議会オンラインセミナー	近畿社会福祉法人経営者協議会	On-line	生活支援員 1名
2月19日	精神・発達障害者仕事サポーター養成講座	京都労働局職業安定部職業対策課	京都市	栄養士 1名
3月3日	全国社会福祉法人経営青年会専門講座	全国社会福祉法人経営青年会	On-line	施設長 生活支援員 1名

3月4日 5日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	(有)ホットラインワールド	大津市	生活支援員 1名 内定者 5名
3月7日	福祉職場就職フェア	京都府福祉人材・研修センター	京都市	生活支援員 2名
3月24日	虐待防止と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会	京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター	On-line	施設長 生活支援員 1名
3月23日	ブランディング&PRセミナー	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	生活支援員 1名
3月25日	リハビリテーション ステップアップ研修	地域リハビリテーション支援センター	On-line	生活支援員 2名

5 情報公開

施設の様々な取り組みについてホームページから情報発信しました。ご利用者とご家族には、施設の様子や連絡事項を毎月発行する広報誌「しゃらら」によりお知らせしました。

6 設備整備の状況

整備したものは、次のとおりです。

時期	内 容	整備費
5月	空気消臭除菌装置5台	660,000円
6月	耐用年数経過によりエレベーターバッテリーを2台更新	352,000円
	耐用年数経過により自家発電機バッテリー1台を更新	196,900円
9月	耐用年数経過によりパソコン23台を更新	3,673,780円
11月	経年劣化のため検体用冷凍庫を更新	388,477円
	経年劣化のためパススルー冷凍庫を更新	582,715円
	経年劣化のためパススルー冷凍庫を更新	461,316円
	経年劣化のため食器洗浄機を更新	910,492円
12月	非接触型体温測定器サーマルカメラ4台を整備	1,100,000円
	睡眠見守り支援機器「眠りSCAN」70台を整備	7,427,200円

7 補助金等の受け入れ状況

対象事業	交付団体	補助金等の種類	補助額
出生時両立支援	京都労働局	両立支援助成金	720,000円
育児休業等支援	京都労働局	両立支援助成金	360,000円
母性健康管理措置	京都労働局	両立支援助成金	400,000円
新型コロナウイルス小中学校休業対応	京都労働局	両立支援助成金	25,806円
重度知的障害者特別加算費補助事業	京都市	重度知的障害者特別加算費補助金	7,396,000円
65歳超無期雇用転換	高齢・障害・求職者雇用支援機構	65歳超雇用推進助成事業	1,200,000円
正規雇用転換	京都労働局	キャリアアップ助成事業	720,000円
感染予防備品消耗品整備	京都府	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	1,972,000円
福祉避難所用感染予防対策	京都府 城陽市	地域共生社会実現サポート補助事業	283,000円
睡眠見守り支援機器整備	京都府	障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業	1,479,000円
施設整備借入金元金償還金補助事業	京都府	民間社会福祉施設サービス向上補助事業	1,933,260円
合	計		16,489,066円

8 ご家族とのかかわり

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、ご家族の定例会は中止していただき、書類のやりとりは郵送で行いました。ご利用者様との面会は予約制で人数制限を行い、密にならないよう配慮しました。さらに感染症まん延期は、オンライン面会としました。

施設内で行う行事はライブ配信し、日頃のご利用者様の様子を知っていただくようにしました。

また、サービス向上のためご家族を対象としたアンケート調査を実施しました。

9 地域貢献

実習学生の受け入れは取り止めとしました。また、施設公開も中止しました。

(1) インターンシップ等の受入れ

開催日	参加状況	備考
8月23日・31日	同志社女子大学 1名 龍谷大学短期大学部 2名	オンラインにより課題解決型として実施

(2) 福祉避難所の備品整備

福祉避難所で使う消毒液とマスクを京都府と城陽市の補助金を活用して整備しました。

障害者支援施設 DO

1 総 括

新型コロナウイルスの感染拡大により、日課や行事は内容を変更して実施し、地域への取り組みや、実習生・ボランティアの受入れは中止としました。また、緊急事態宣言中は、通所での生活介護の利用を休止し、施設内の感染防止を最優先としました。

2 利用者支援

ご利用者様にとって真に必要なサービスは何かを探り、それこそがご本人の意思を支援することになると考え、サービス方法見直しのため、月に1度人権委員会を開いてご利用者様からさまざまな意見を伺いました。

感染防止対策により、日課やプログラムの変更、外出行事を中止しましたが、施設内でのレクリエーションなどを充実させ、気分転換を図り、楽しく過ごせるように工夫しました。

(1) 利用人数

サービス種別	延べ利用人数	1日平均利用人数	利用率
施設入所支援	11,227人	30.75人	102.52%
生活介護	12,572人	34.44人	86.10%
短期入所	12人		

(2) 作 業

新型コロナウイルスの影響から内職資材の搬入がストップする時期があり、作業量は減少しました。また、宇治市役所での自転車販売会も回数が少なくなり、販売台数が減少しました。そんな中、喫茶CafeDOによるラクト山科「京都ええもんコレクション」での販売は実施できました。

ご利用者様の制作するアートの商品化については、異業種や地域のつながりがなかったため実現できませんでした。

利益は工賃として、ご利用者様に分配しました。

売 上 金	2,498,681円
材 料 費	1,665,087円
収 益	833,594円

売上内訳

作 業 種 目	売 上 金	備 考
喫茶 Cafe DO	2,350,030円	
リサイクル自転車整備販売	50,000円	10台を販売
内職作業	98,651円	(株)ユタカ産業
合 計	2,498,681円	

(3) クラブ活動

趣味を広げ、余暇時間の充実につなげるため、絵画、ちょこっとクッキングを実施しました。ヨガとスポーツチャンバラは外部インストラクターによるため、新型コロナウイルス感染予防の観点から取り止めとしました。

(4) 広 報

ホームページやもりもり新聞により、施設の催しやご利用者様の声、施設の取り組みなどの情報を発信しました。

このほかご利用者様には、日課、レクリエーションの予定、余暇の情報、保健医務、食事、来訪者、歳時記などの情報を提供しました。

(5) レクリエーション

外出行事は取り止めにしましたが、温かみを大切に施設内行事を実施しました。

実施日	内 容	場 所
4月 3日	お花見(入所)	施設内
4月 9日	春の会(入所)	施設内
5月 4日	GWケア「DOナイトマーケット」(入所)	施設内
8月 21日	DO涼祭(入所)	施設内
10月 17日	日帰り旅行(入所)	都ホテル京都八条
11月 5日	秋のちょこっとクッキング(通所)	施設内
12月 22日	クリスマスちょこっとクッキング(通所)	施設内
12月 24日	クリスマス会(入所)	施設内
2月 1日	新年会(入所)	施設内
3月 18日	春のちょこっとクッキング(通所)	施設内

(6) 社会の時間SUPER(入所のみ)

地域での自立を目指すためのプログラムとして、地域のスーパーや銀行、郵便局、コミュニティセンター等を自ら利用し、自分の力を試す機会を設ける計画でしたが、新型コロナウイルス感染予防から取り止めました。

(7) 心と体のケアに対する取り組み

ア 運動

ゲーム、スポーツ、ウォーキング、高齢者の機能維持体操などを実施しました。体力保持や機能維持だけでなく、ストレス発散や情緒の安定に努めました。

イ 音楽療法

音楽療法は外部インストラクターによるため、新型コロナウイルス感染予防の観点から取り止めとしました。

ウ メディテーションアワー

対面を止めて全館放送により生の歌声やフルートの演奏を届け、情緒の安定に努めました。

(8) 利用者自治会活動支援

自治会主催のカラオケの時間や誕生会などの行事をサポートしました。

(9) 保健衛生

9月と3月に健康診断を実施しました。その結果をもとに嘱託医と相談し、生活習慣病の早期発見と予防に努めました。

看護師・管理栄養士・介護福祉士で構成する誤嚥対策チームを結成し、職員やご利用者様に研修を実施するなど誤嚥予防に力を入れました。

(10) アート活動

ア アートジャンクション

オンラインにより「DOリモートミュージアム」として10月から3か月間開催しました。

イ 展覧会への出展

東京で開催の「アートパラ深川おしゃべりな芸術家」、京都桂川RC主催の「心の絵展」、京都府・京都市主催の「京都とおきの芸術祭」にご利用様が多数出展されました。

(11) 苦情受付状況

苦情はありませんでした。

3 安全対策

(1) 消防署所管の訓練の実施状況

実施日	訓練内容	備 考	消防署届出	消防署立合
5月28日	部分訓練	避難・通報・消火(仮想)	有	無
6月11日	部分訓練	夜間想定避難・通報・消火(仮想)	有	無
3月11日	総合訓練	避難・通報・消火・救護	有	有
3月23日	部分訓練	夜間想定避難・通報・消火(仮想)、防火教育	有	無

(2) その他の訓練の実施状況

実施日	訓練内容	備 考
10月8日	防災訓練	地震想定避難・災害用トイレ設営・発電機操作・非常食提供
3月11日	防犯訓練	避難・撃退・通報訓練、机上防犯教育

4 職 員

(1) 残業の削減

すべての職員が「残業をしない」という意識を持って削減に取り組みました。月平均法定外残業時間は12分でした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇の取得率

2019年度に新たに付与した日数に対して全員が7割取得を目標としましたが、1人が7割取得しませんでした。平均取得率は91.0%でした。

イ 職員の家族の職場訪問

12月25日に開催しました。1家族2名の参加がありました。

(3) 健康増進

ア ラジオ体操

1日2回実施しました。

イ 腰痛予防対策

介護職員にはノーリフティングケアを徹底するとともに、始業時に腰痛予防体操を行いました。

ウ 健康アプリの活用

食事・運動・睡眠のアドバイスが毎日届く健康アドバイスアプリが導入されたので、健康情報の入力に応じたポイントを付与しその普及に努めました。

エ 体成分分析装置による健康管理

筋肉量や水分量が測定できる体成分分析装置を使った健康管理を行いました。測定結果の推移から自身の体の状態を確認することができます。

オ がんの啓蒙と検診

がん検診を推奨する研修を全職員に実施しました。がん教育として「がん対策推進企業アクション」が作成したYouTube「がん教育講座」を視聴しました。

(5) 各種会議の開催状況

会 議 名	開催数
人権委員会	12回
職員会議	7回
個別支援会議	8回
管理職会議（生活向上委員会）	12回
リスクマネジメント委員会	5回
感染予防対策委員会	2回
給食委員会	3回
合同作業会議	4回
衛生委員会・健康会議	10回

(6) 研修の状況

新型コロナウイルス感染拡大により、外部団体主催の研修会は減りましたが、施設内研修を積極的に行うことで知識や技術を取得し、質の高いサービス提供につなげました。特に今年度から導入のeラーニングを有効に活用しました。

ア 施設主催研修会の開催状況

開催日	内 容	講 師	参加者内訳
4月1日	新入職員研修	リーダー(生活支援員)	生活支援員 3名
5月13日	誤嚥研修	管理栄養士・看護師	生活支援員 7名
5月14日	誤嚥研修	管理栄養士・看護師	生活支援員 7名
7月15日	ソフト食研修	管理栄養士	生活支援員 6名 看護師 1名
7月20日	ソフト食研修	管理栄養士	生活支援員 4名
7月22日	ソフト食研修	管理栄養士	生活支援員 3名
9月1日	新入職員研修	リーダー(生活支援員)	生活支援員 1名
9月15日	緊急時対応(夜間の利用者の急変)	看護師	生活支援員 3名
9月29日	虐待防止	施設長	生活支援員 3名 次長 1名
10月19日	私たちのコンプライアンス	eラーニング	施設長 次長 1名 生活支援員 19名 看護師 2名 管理栄養士 1名 事務員 1名
11月1日	新入職員研修	リーダー(生活支援員)	生活支援員 1名

11月2日 12月15日	新型コロナウイルス感染症対策研修	京都府動画	看護師 2名
11月16日	傾聴	看護師	生活支援員 3名
11月25日	感染対策	看護師	施設長 生活支援員 9名 管理栄養士 1名 事務員 1名
11月26日	メンタルヘルスセミナー (本部主催)	(株)システムサポート研究所	生活支援員 4名 看護師 1名 事務員 1名
1月22日	人を育てる「ほめ方・叱り方」	eラーニング	生活支援員 2名
1月22日	こんな時どうする？仕事のマナー	eラーニング	生活支援員 2名
1月22日	新入職員の指導・支援の考え方・進め方	eラーニング	生活支援員 1名 看護師 1名
1月25日	新入職員の指導・支援の考え方・進め方	eラーニング	生活支援員 3名
1月28日	職場における健康講座 睡眠と健康でやる気 up！良眠のススメ (本部主催)	洛和会京都健診センター On-line	生活支援員 7名 管理栄養士 1名 看護師 1名 事務員 1名
2月1日	新入職員研修	リーダー(生活支援員)	生活支援員 1名
2月3日	あなたが防ぐ！「情報漏洩」	eラーニング	生活支援員 1名
2月3日	こんな時どうする？仕事のマナー	eラーニング	生活支援員 1名
2月4日	ビジネスマナーチェック&実践！	eラーニング	生活支援員 1名
2月5日	あなたならどうする？社会人やっていること・悪いこと	eラーニング	生活支援員 1名
2月17日	“ジェンダーの平等”と職場環境	大谷大学教授 川北典子氏	生活支援員 8名 管理栄養士 1名 看護師 1名
2月17日	防護具の装着方法(新型コロナウイルス感染症陽性の利用者の方が発生し施設内療養が必要とされる場合を想定して)	看護師	生活支援員 12名 管理栄養士 1名
2月17日	個人情報保護	次長(生活支援員)	施設長 生活支援員 12名 看護師 2名 管理栄養士 1名 事務員 1名
2月18日	新入社員の指導・支援の考え方・進め方	eラーニング	生活支援員 1名
2月19日	新入社員の指導・支援の考え方・進め方	eラーニング	生活支援員 1名
2月19日	こんな時どうする？仕事のマナー	eラーニング	生活支援員 1名
2月19日	人を育てる「ほめ方・叱り方」	eラーニング	生活支援員 1名
3月2日	あなたが防ぐ！「情報漏洩」	eラーニング	生活支援員 1名
3月11日	防犯研修 ～不審者の侵入防止と安全確保のために～	次長(生活支援員)	生活支援員 9名 看護師 1名 管理栄養士 1名
3月23日	①身体拘束と虐待について ②障害者虐待防止と身体拘束への理解	京都府動画	施設長 生活支援員 3名

イ 外部団体主催研修会への参加状況

開催日	研修会名	主催者	開催地	参加者内訳
7月3日 8月3日 9月3日	キャリアアップ研修(中堅職員)	京都府社会福祉協議会	京都市	生活支援員 1名
7月8日	管理職研修「労務管理の基礎知識」	京都府	京都市	生活支援員 1名
7月10日 8月4日 9月7日	キャリアアップ研修(チームリーダー)	京都府社会福祉協議会	京都市	生活支援員 1名

7月17日	指導職研修	京都府	京都市	生活支援員 1名
7月28日	てんかん基礎講座	日本てんかん協会	大阪市	生活支援員 3名
7月28日	管理職研修「現場出身管理職のための財務管理」	京都府	京都市	生活支援員 1名
8月5日	中堅・指導職研修「現場職員のセルフマネジメント」	京都府	京都市	生活支援員 1名
8月6日	きょうと福祉人材育成認証制度「組織活性化プログラム」活用セミナー	京都府	城陽市	生活支援員 1名
9月10日	男性の育児休業取得が企業を変える！！	京都府	京都市	施設長
2月8日	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	On-line	生活支援員 1名 事務員 1名

5 情報公開

ホームページや広報誌「もりもり新聞」により、ご利用者様の声、職員の声、施設の取り組みをわかりやすく発信しました。

6 設備整備・大規模修繕の状況

次のとおり整備等を行いました。

時期	内 容	整備費
4月	感染症予防のため空気除菌消臭器3台を購入	396,000円
6月	風呂用給湯配管の入れ替え	4,500,000円
7月	職員室エアコン1台を更新	451,000円
8月	東側外壁の防水	3,498,000円
9月	感染症予防のため空間除菌脱臭器4台を購入	1,014,640円
	パソコン2台を購入	311,520円
10月	パソコン2台を購入	277,200円
12月	階段に手摺を設置	313,500円

7 補助金等の受け入れ状況

対 象 事 業	交 付 団 体	補 助 金 等 の 種 類	補 助 額
重度知的障害者特別加算費補助事業	京都市	重度知的障害者特別加算費補助金	1,032,000円
芸術活動支援	京都府	文化活動継続支援補助事業	200,000円
感染予防備品消耗品整備	京都府	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	1,972,000円
福祉避難所用感染予防対策	京都府 城陽市	地域共生社会実現サポート補助事業	330,000円
合		計	3,534,000円

8 ご家族とのかかわり

「もりもり新聞」や「もりもりプラス」により、施設の取り組みなどについて公表しました。また、より良いサービスを提供するために、アンケート調査を行いました。

9 地域社会への貢献

実習学生・ボランティア、インターンシップの受け入れは取り止めとしました。また、障害者施設や障害がある人への理解を深めるためのイベント「DOスマイルミーティング」も

開催を取り止めました。

(1) 出張講座

池坊短期大学において、学生と教員約60名に「障がいのある人とのかかわり～生きる力の支援からみえてくるもの～」と題して、出張講座を行いました。

(2) 地域の一時避難所の感染対策

災害時には地域の方の一時避難所とする作業室に、感染症対策として簡易パーテーションとカーテンを設置しました。京都府と城陽市の補助事業として行いました。

特定相談支援事業所 青谷学園相談支援事業所

1 サービス等利用計画等作成状況

サービス等利用計画並びにモニタリング報告書の作成状況は次のとおりです。

新型コロナウイルスの感染予防から、ご利用者様への聞き取りには、タブレットによるリモート面談を導入しました。

(件)

種 類	青谷学園	D O	その他	合 計
サービス等利用計画	21	12	0	33
モニタリング報告書	95	51	0	146
合 計	116	63	0	179

2 研修会への参加状況

新型コロナウイルス感染症の影響から相談に関する研究会は開催されませんでした。

3 設備整備の状況

次のとおり整備等を行いました。

時期	内 容	整備費
9月	面談用タブレット2台購入	74,360円

4 補助金等の受け入れ状況

対 象 事 業	交 付 団 体	補 助 金 等 の 種 類	補 助 額
感染予防備品消耗品整備	京都府	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	60,000円
合 計		計	60,000円

事業報告の附属明細書

2020年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 青谷学園
理事長 白 檉 忠